

II 千葉キャンパス

1 年間の諸行事・諸活動

2011 (平成23年度) 総合福祉学部・コミュニティ政策学部 学年暦 [前学期]

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1	金	1	日	1	水	1	金	1	月	1	木
2	土	2	月	2	木	2	土	2	火	2	金
			振替休日(海の日)		保育園教育実習Ⅱ1回目 ~6/15		資格と仕事を知らうが'イ'ンス②				再試験 ~9/3
3	日	3	火	3	金	3	日	3	水	3	土
			祝日(憲法記念日)								再試験 ~9/3
4	月	4	水	4	土	4	月	4	木	4	日
			祝日(みどりの日)		協賛会総会(予定)						オープンキャンパス⑥(予定)
5	火	5	木	5	日	5	火	5	金	5	月
	前学期履修登録期間 4/5~4/28 3年健康診断		祝日(こどもの日)				社会福祉学科1年次生 麻疹抗体価検査(予定)		前学期授業終了 図書館夜間終了		
6	水	6	金	6	月	6	水	6	土	6	火
	2年健康診断		振替休日(創立記念日)						授業予備期間 ~8/9		コミュニティ研究Ⅱ ~9/8
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日	7	水
	4年健康診断						孟蘭盆会		オープンキャンパス④(予定)		
8	金	8	日	8	水	8	金	8	月	8	木
	入学オリエンテーション 学生厚生オリエンテーション (学生証・資料配布)				幼稚園教育実習Ⅱ2班 ~6/14				授業予備期間 ~8/9 ソーシャルワーク 実習、精神保健福祉援助実習 Ⅲ、保健医療ソーシャルワーク実習開始 (予定)、小児保健実習 ~8/13		
9	土	9	月	9	木	9	土	9	火	9	金
	教務オリエンテーション① 日本学生支援機構奨学金説明会 (1年次生)		ソーシャルワーク実習関係書類提出 ~5/11						授業予備期間 ~8/9		
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	10	土
									追試験日程発表		A0Ⅰ期、編入学Ⅰ期入試
11	月	11	水	11	土	11	月	11	木	11	日
	教務オリエンテーション②										
12	火	12	木	12	日	12	火	12	金	12	月
	教務オリエンテーション③		ソーシャルワーク実習指導者 打ち合わせ会(仮称)						追試験期間 ~8/13		
13	水	13	金	13	月	13	水	13	土	13	火
	教務オリエンテーション④				幼稚園教育実習Ⅲ3班 ~6/20				追試験期間 ~8/13		
14	木	14	土	14	火	14	木	14	日	14	水
			1年健康診断								
15	金	15	日	15	水	15	金	15	月	15	木
	授業開始 図書館夜間開始 日本学生支援機構奨学金説明会 (2年次以上)										教授会(予定)
16	土	16	月	16	木	16	土	16	火	16	金
			教育実習Ⅰ ~6/3		教授会(予定)		オープンキャンパス③-1(予定)				後期授業開始 図書館夜間開始 卒論
17	日	17	火	17	金	17	日	17	水	17	土
					保育実習Ⅱ2回目 ~7/1		オープンキャンパス③-2(予定)				
18	月	18	水	18	土	18	月	18	木	18	日
					学園建学式・教職員特別研修会		通常授業(海の日)				
19	火	19	木	19	日	19	火	19	金	19	月
			教授会(予定)		オープンキャンパス②(予定)						通常授業(敬老の日)
20	水	20	金	20	月	20	水	20	土	20	火
21	木	21	土	21	火	21	木	21	日	21	水
	教授会(予定)		協賛会評議員会(予定) スポーツ・レクリエーション祭				教授会(予定)		オープンキャンパス⑤(予定)		教職課程・履修カルテの記載 確認(教育福祉学科) ~9/27
22	金	22	日	22	水	22	金	22	月	22	木
	降誕会 新入生セミナー ~4/23(学内) 大学学入試説明会 午後休講										
23	土	23	月	23	木	23	土	23	火	23	金
	創立記念日(補講等学校行事あり)		教育実習Ⅱ ~6/3								通常授業(秋分の日)
24	日	24	火	24	金	24	日	24	水	24	土
									成績発表		
25	月	25	水	25	土	25	月	25	木	25	日
					資格と仕事を知らうが'イ'ンス①						
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金	26	月
									再試験願書締切		淑徳大学奨学金 (1年生・編入生)説明会
27	水	27	金	27	月	27	水	27	土	27	火
	淑徳大学奨学金(2年生以上) 説明会										
28	木	28	土	28	火	28	木	28	日	28	水
	前学期履修登録期間終了										
29	金	29	日	29	水	29	金	29	月	29	木
	通常授業(昭和の日) 午前休講		オープンキャンパス①(予定)								
30	土	30	月	30	木	30	土	30	火	30	金
							振替休日(昭和の日)				9月卒業(予定) 幼稚園教育実習Ⅱ1班 ~10/21 履修登録終了 9/3~
		31	火			31	日		31	水	
			ソーシャルワーク実習・班長用書類提出 (巡回訪問用資料)						再試験日程発表		

2011 (平成23年度) 総合福祉学部・コミュニティ政策学部 学年暦 [後学期]

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
1	土	1	火	1	木	1	日	1	水	1	木
2	日	2	水	2	金	2	月	2	木	2	金
3	月	3	木	3	土	3	火	3	金	3	土
4	火	4	金	4	日	4	水	4	土	4	日
5	水	5	土	5	月	5	木	5	日	5	月
6	木	6	日	6	火	6	金	6	月	6	火
7	金	7	月	7	水	7	土	7	火	7	水
8	土	8	火	8	木	8	日	8	水	8	木
9	日	9	水	9	金	9	月	9	木	9	金
10	月	10	木	10	土	10	火	10	金	10	土
11	火	11	金	11	日	11	水	11	土	11	日
12	水	12	土	12	月	12	木	12	日	12	月
13	木	13	日	13	火	13	金	13	月	13	火
14	金	14	月	14	水	14	土	14	火	14	水
15	土	15	火	15	木	15	日	15	水	15	木
16	日	16	水	16	金	16	月	16	木	16	金
17	月	17	木	17	土	17	火	17	金	17	土
18	火	18	金	18	日	18	水	18	土	18	日
19	水	19	土	19	月	19	木	19	日	19	月
20	木	20	日	20	火	20	金	20	月	20	火
21	金	21	月	21	水	21	土	21	火	21	水
22	土	22	火	22	木	22	日	22	水	22	木
23	日	23	水	23	金	23	月	23	木	23	金
24	月	24	木	24	土	24	火	24	金	24	土
25	火	25	金	25	日	25	水	25	土	25	日
26	水	26	土	26	月	26	木	26	日	26	月
27	木	27	日	27	火	27	金	27	月	27	火
28	金	28	月	28	水	28	土	28	火	28	水
29	土	29	火	29	木	29	日	29	水	29	木
30	日	30	水	30	金	30	月	30		30	金
31	月			31	土	31	火			31	土

2011(平成23年度) 大学院総合福祉研究科 学年暦

年	月	日	曜	総合福祉研究科共通	入試・説明会	社会福祉学専攻 博士前期課程	心理学専攻 修士課程	社会福祉学専攻 博士後期課程	
4	5~7	火~木		健康診断(在学生)					
	9	土		入学リエンション(学生証・資料配布) 研究科委員会(予定)					
	15	金		前学期授業開始 図書館夜間開館開始 日本学生支援機構奨学金説明会					
	22	金		降誕会					
	23	土		創立記念日(通常授業)					
	25	月		前学期・学費納付期限		25(月)指導教員希望届締切	25(月)指導教員希望届締切	25(月)指導教員希望届締切	
	27	水		淑徳大学(給付・貸与)奨学金説明会		社専協委託聴講届等締切			
	28	木		研究科委員会(予定)		28(木)指導教員の確定(専攻会議)	28(木)指導教員の確定(専攻会議)	28(木)指導教員の確定(専攻会議)	
	29	金		通常授業(昭和の日)		29(金)指導教員の発表	29(金)指導教員の発表		
	30	土				30(土)修士論文・特定課題研究レポート中間報告会		(掲示)学生研究費補助金説明会	
	5	2	月		振替休日(海の日)				
		3	火		祝日(憲法記念日)				
		4	水		祝日(みどりの日)				
		5	木		祝日(こどもの日)				
6		金		振替休日(創立記念日)					
13		金		[前学期]履修登録締切				13(金)年度末研究業績提出締切 (H22分経過措置)	
14		土		健康診断(新入生)					
17~20	水~金		20(金)履修者名簿配布(前学期)		17(火)~19(木)修士論文題目届・特定課題研究レポート題目届受付(本年度修了予定者のみ提出)		20(金)院生研究補助金交付申請受付締切		
26	木		研究科委員会(予定) (掲示)奨学生選考(面接) 研究倫理審査申請説明会				(掲示)学生研究費補助金選考(面接)		
6			(掲示)研究倫理審査(含む免除)第1回申請締切						
23	2	土			大学院 第1回 入試説明会(予定)				
	7	木		孟蘭盆会					
	8	金		大学院研究紀要 執筆申込締切(予定)		9(土)~10(日)修士論文・特定課題研究レポート・博士論文中間発表会(予定)			
	9	土					9(土)修士論文中間報告会(予定)	9(土)博士論文中間報告会(予定)	
	12~15	火~金		(掲示)研究倫理審査(含む免除)第1回審査通知		15(金)9月末修了予定者の修士論文・特定研究課題レポート提出締切	12(火)~15(金)修士論文題目届受付(3月末修了予定者のみ提出)		
	18	月		祝日(海の日・通常授業)					
	28	木		研究科委員会(予定)		28(木)9月末修了予定者の修士論文・特定課題研究レポート発表会 最終審査(専攻会議)(予定)			
30	土		振替休日(昭和の日)						
8	9	火		前学期授業終了(予定) 図書館夜間終了(予定) 前学期成績報告締切			臨床心理士・臨床発達心理士の資格認定(個人申請の手続・締切等は、機構HPなど参照)申請	31(水)9月末提出予定者の課程博士の学位請求論文題目届〆切	
9	5	月			5(月)心理学専攻 特別選抜入試				
	6	火			6(火)心理学専攻 特別選抜入試合格発表				
	16	金		大学院研究紀要投稿締切(予定) 後期授業開始	図書館夜間開始				
	19	月		祝日(敬老の日・通常授業)					
	22	木		研究科委員会(予定)					
	23	金		祝日(秋分の日・通常授業)		26(月)修士論文題目変更届・特定課題研究レポート変更届受付(本年度修了予定者全員提出)		22(木)3月末提出の学位(課程博士)請求論文公開審査会(予定)	
	26	月		前学期成績評価表配布開始 後学期学費納付期限		30(金)修士論文題目変更届・特定課題研究レポート変更届締切(本年度修了予定者全員提出)		30(金)学生研究費補助金会計中間報告締切	
30	金		9月修了の学位記授与式(予定)						
30	金		後学期履修登録締切						
10	2	日			2(日)第1回入学試験(予定) [前期課程・修士課程]				
	3	月			3(月)第1回入学試験 合格発表(予定)				
	7	金		日本社会福祉学会準備のため休講					
	8~9	土~日		日本社会福祉学会(休講)					
	10	月		通常授業(体育の日)					
11~13	火~木		履修確認期間(後学期)						

年	月	日	曜	総合福祉研究科共通	入試・説明会	社会福祉学専攻 博士前期課程	心理学専攻 修士課程	社会福祉学専攻 博士後期課程
23	10	17	月	履修者名簿配布(後学期)				
		27	木	研究科委員会(予定)				
		28	金	龍澤祭準備のため休講				
		29・30	土・日	龍澤祭(大学院生による発表)～30 30(日)千葉キャンパスホームcomingデー	30(日)大学院入試相談会			
		31	月	龍澤祭片付けのため休講				
	11	3	木	祝日(文化の日)				
		13	日		13(日)第1回 社会福祉学専攻 社会人A0入試(事前面接)			
		14	月					
		18	金					
	12	23	水	祝日(勤労感謝の日)				
		1	木	成道会				
		4	日		4(日)社会福祉学専攻博士前期課程 第1回 社会人A0入試			
10		土		10(土)第2回 大学院入試説明会				
13		火	振替休日(敬老の日)					
23	金	通常授業(天皇誕生日)年内授業終了 図書館夜間会館終了						
24	1	1	日	祝日(元日)				
		6	金	新年授業開始 図書館夜間開始				
		9	月	祝日(成人の日)				
		10	火			10(火)修士論文・特定課題研究レポート受付 開始	10(火)修士論文提出受付開始	
		13	金	大学入試センター試験準備(休講)				
		14～15	土～日	大学入試センター試験(休講)				
		19	木			19(木)修士論文・特定課題研究レポート提出 締切	19(木)修士論文提出締切	
	26	木	研究科委員会(予定)					
	30	月	後学期授業終了 図書館夜間終了				31(火)学生研究費補助金 会計報告締切	
	31	火	補講・集中講義開始					
	2	2	2	木	補講・集中講義終了			
4			土	後期講義科目等の成績報告締切				
5			日		5(日)第2回 入学試験(予定)			
6			月	振替休日(秋分の日)				
7～10			火～金			7(火)～10(金)3月末修了予定者の修士論文・特定 課題研究レポート口述試問期間	8(水)3月末修了予定者の修士論文 口述試問(予定)	
13			月			14(火)3月末修了予定者の修士論文・特定 課題研究レポート発表会 最終審査(専攻会 議)(予定)	13(月)3月末修了予定者の修士論文 発表会・最終審査(専攻会議)予定	
14		火						
19		日		19(日)第2回 社会福祉学専攻 社会人A0入試(事前面接)				
23		木	研究科委員会(予定)				23(木)9月末提出の学位(課程博士)請求 論文公開審査会(予定)	
24		金	修了者発表(掲示)				29(水)課程博士3月末学位請求論文 提出予定者の論文題目届々切	
27	月	振替休日(体育の日)						
28～29	火～水	28(火)振替休日(天皇誕生日)						
3	3	1	木	大学院 後学期成績評価 配付開始				3(土)博士論文中間報告会(予定)
		8	木	研究科委員会(予定)	4(日)社会福祉学専攻 第2回社会人A0入試(予定)	3(土)修士論文・特定課題研究レポート中間 報告会(予定)		
		15	木	総合福祉研究科 第22回学位記授与式・修了記念パーティ	10(土)24年度 科目等履修生・聴講生・研 究生選考(予定)			
		20	火	祝日(春分の日)				30(金)年度末研究業績提出締切
		30	金					30(金)学生研究費補助金研究報告締切

※ 平成23年度学年暦は、東北・関東大地震後の社会の状況等の変化に伴い、変更される場合があることをご承知ください。変更ある場合は、「学生配付、掲示等」にてお知らせします。

2 教育活動

総合福祉学部

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、本学部の教学運営に対し多大な影響を与えた。平成 23 年 3 月 15 日に予定されていた卒業式については、当初は「延期」で対応しようとしたが、引き続き余震と不測の事態（東京電力の福島原発問題）への懸念から、最終的には中止することとなった。これに加え、平成 23 年度末に新生を対象として実施予定であった 3 月のスプリングセミナーも中止することとなった。

震災の影響により卒業式を実施することができなかった第 43 期卒業生に対しては、平成 23 年度のホームカミングデーに合わせて、「卒業を祝う会」を後日実施した。ホームカミングデーの開催日は、毎年多数の卒業生が母校に帰ってくる龍澤祭期間中に実施することとし、第 43 期卒業生のうち約 250 名が参加した。また、他の年次の卒業生も加えると、当日の参加卒業生は約 300 名であった。

東日本大震災の影響は平成 23 年度に入っても深刻な影を落としている。大震災以降も余震が続き収まる気配がなく、4 月 1 日実施予定であった入学式についても中止せざるを得なかった。4 月下旬に毎年行なわれていた新生セミナー（1 年次生担当の教員と新生生の宿泊による合宿型オリエンテーション）も、学外での宿泊による実施は見送ることとして、学内での実施とした。

なお、中止した入学式に代えて、年度初めのオリエンテーション期間中に、キャンパス内で学科単位での新生オリエンテーションや教員紹介などを行なった。

上記以外の教学上の直接的な影響としては、授業開始日を 1 週間遅らせたことである。

なお、震災による原子力発電所の発電中止等に伴い、東京電力管内の電力供給に不足が生じるおそれから、政府の節電要請に協力するために様々な節電対策を実施した。現在も、その節電体制は継続している。

ところで、本学では、東日本大震災の被災地に対して、継続的な支援を行なうために千葉キャンパス内の地域支援ボランティアセンターに東日本大震災支援ボランティアセンターを設置した。同センターが取り組んだ事業には、緊急時の短期的な支援事業と中長期的な支援事業がある。前者については、石巻市雄勝町大須地区の避難所に対する学生主体の生活支援ボランティアである。学生ボランティア活動は、その後も断続的に現在も続けられており、そのための支援基金も立ち上げられている。また、中長期的な展望に立った支援活動としては、当地の子どもたちに対する学習支援活動がある。

入試関係の震災被害者への対応としては、東日本大震災の被災証明書を添付した志願者に対しては検定料を免除している。また、従前より実施していた学生に対する「緊急学費減免措置」の対象に震災被害者を加えることとした。

さて、平成 23 年度は総合福祉学部にとって節目になる年でもあった。総合福祉学部に新たに設置された教育福祉学科がスタートしたのである。前年度には、総合福祉学部の人間社会学科を母体に、コミュニティ政策学部コミュニティ政策学科が設置されている。教育福祉学科の設置は、本学千葉キャンパスの学部学科再編の一環ということになる。教育福祉学科の届出設置は、実践心理学科のこども心理専攻（幼稚園教職課程）と社会福祉学科の保育士課程の、2 つの教育課程の統合を基礎にした学科である。学科の入学定員は 150 名であるが、2 つのコースにより入学生の定員管理がなされている。学校教育コースと健康教育コースである。学校教育コースでは、保育士資格の取得の他に、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭の免許状が取得可能であり、健康教育コースでは中・高の保健

体育教諭免許状、養護教諭免許状の取得が可能になるように教職課程が組み込まれている。この他、教育課程に関連することとしては、社会福祉士養成校協会が認定するスクールソーシャルワーカーの養成課程を設置する準備に入ったこと、ならびに精神保健福祉士の法令変更に伴う変更申請をあげることができる。

このように、平成 23 年度は総合福祉学部における学科等の再編が本格化したのであるが、このような教育課程の再編と同時に、総合福祉学部では政策当局の大学教育改革に対して敏感に反応して様々な改革に着手した。その一つが、GPA 制度の運用開始である。総合福祉学部に対しては、前回の大学基準協会の認証評価の際に、GPA 制度の導入を促されていたのであるが、ようやく GPA 制度に関連する諸規程が整備され、本年度より適用されることとなった。GPA 制度による成績優秀者や著しい成績向上者に対しては、奨励金を給付することとしている。

この他の総合福祉学部が行なってきた大学教育改革（教育の質保証等）は、いわゆる「学士課程教育答申」（文部科学省）のねらいとするところ、ならびにその後の行政当局の政策方針等を踏まえ、「何を教えるか」よりも、受け入れた学生が「何ができるようにするか」を重視した教育改革である。学位授与方針、教育課程の編成実施方針、学生の受け入れ方針の策定をはじめ、学生諸個人の学習成果を重視して、卒業時に修得できる能力を明確にできるようなプログラム教育の定着に努めてきた。それらの取り組みは、現時点で必ずしも十分な成果を挙げているというものではないが、単位制度の実質化に向けた授業アンケートの整備（事前事後学習時間の把握等）や授業の相互参観など一歩ずつ前進している。

この他の平成 23 年度中に取り組んだ事業としては、日本社会福祉学会の開催がある。10 月 8 日と 9 日の両日にわたり、第 59 回の日本社会福祉学会秋季大会が本学千葉キャンパスを主たる会場に開催された。また、保護者会のうち 1 年次生対象の保護者会は新入生に対する学習指導などを中心に、初年次教育の委員会や 1 年次生担当のアドバイザー教員そして学生サポートセンターを中心に 9 月 3 日に実施された。2 年次生や 3 年次生の保護者を主たる対象にした保護者会は、保護者の就職活動支援を資することを目的の一つに、11 月にキャリア支援センターが主体となって実施されている。

コミュニティ政策学部

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、本学部の 2011（平成 23）年度当初の教学運営にも多大な影響を与えた。震災発生から余震が続いていることによる行事開催のリスク管理の必要性の判断、また福島原発の事故に伴う東京電力による計画停電の実施状況を鑑み、4 月 1 日に開催が予定されていた入学式を「中止」することとした。また前期の授業期間の開始を 1 週間延期することとした。これらの対応は、本学に限らず、首都圏に位置する多くの大学にも見られる対応であり、社会的な要請でもあったと言える。

入学式を「中止」することの代替措置として、オリエンテーション期間に、キャンパス内において、学部単位での学長による新入生向けの講演などを行った。

また新入生セミナーの開催については、従来の宿泊を伴うセミナーの開催を変更し、キャンパス内での開催となった。初日は宗教行事である「降誕会」の開催と自校史教育の一環として本学の建学の精神を理解するためのパネルディスカッションを行った。2 日目はキャンパス内のアリーナや中庭などにおけるクラス単位でのグループワークを行った。

また東日本大震災への対応としては、継続的な支援を行うために、千葉キャンパス内の地域支援ボランティアセンターに東日本大震災支援ボランティアセンターを設置し、緊急

時の短期的な支援活動と継続的な中長期的な支援活動を行った。

前者の活動としては、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市雄勝町大須地区にある雄勝小学校の避難所において、4月下旬から5月末にかけて行われた支援ボランティア活動に、本学部の学生も参加した。具体的なボランティア活動としては、避難所における昼食や夕食の準備のお手伝い、浜の片づけのお手伝いなどを行った。学生のボランティア活動は、継続的に現在も続けられており、そのための支援基金も立ち上げられている。

後者の活動としては、当地の子どもたちに対する学習支援活動、保育所のボランティア活動、当地の製品の販売支援活動などを行っている。当地の製品の販売支援としては、三重県松阪市で11月に開催された「地域ブランドサミット2011 in 松阪」への出展支援と当日の販売支援を本学部の教員が行った。

なお、東京電力福島原子力発電所の事故に伴う政府による節電協力要請に対応するため、本キャンパスにおいても節電対策を進めている。特に、前期の試験期間にあたる夏場の節電対策については、試験会場の調整なども行った。

本学部の教育の特徴としては、社会との関わり合いの中で学生が主体的に学ぶことにある。そのため、学部にサービスマニエールセンターを附置し、学部開設時より学生の教室外での主体的な学習のサポートを行うとともに、2011（平成23）年度からは新たに正課外教育プログラムの試行を開始した。

またこのような学外との連携・協力の体制を進めるために、2011（平成23）年度においては、地元自治体の首長である千葉市長の熊谷俊人氏、全国青年市長会副会長である三重県松阪市長の山中光茂氏、千葉県松戸市の常盤平団地で長く「孤独死」問題に取り組んでいる中沢卓実氏を特別招聘教授とし、講演会、教室外活動の機会の提供、さらには震災対応などを通じて、本学部学生への教育活動に協力を頂いている。

サービスマニエールセンターでは、本学部の学生による千葉ロッテマリーンズ「淑徳大学スペシャルナイター」の実行委員会の活動、ジェフユナイテッド千葉、幕張メッセ、京成ホテルミラマーレ、そごう千葉店、千葉県議会、千葉県警察本部、千葉市役所、千葉都市モノレールなどの地元企業や公共機関への見学を通じた課外研修を企画運営している。また地元の企業や公共機関だけではなく、ハリウッド化粧品、ANA、外務省などへの見学会も実施している。また地域連携の活動としては、千葉都市モノレール祭り、中央区ふるさと祭りへの参加、白旗地域の活性化プロジェクトなどを行っている。さらには、2012年2月6日にはコミュニティ政策学部フォーラム「震災とコミュニティを考える」を開催し、熊谷俊人千葉市長と本田敏秋岩手県遠野市長を招き、被災自治体の支援に関する議論したほか、3月3日、4日には学生の実行委員会による「長谷川良信記念車椅子バスケットボール全国選抜大会」を開催した。

正課科目におけるキャンパス外での教育活動として、学部開設時から進めている「コミュニティ研究Ⅱ」がある。「コミュニティ研究Ⅱ」は、1年次の必修科目であり夏休み期間を使い、地域活動の現場に赴き、活動に主体的に参加し、体験を通じて学ぶことで、学習の方法、仲間とのチームワーク、他者とのネットワークづくりなどの醸成を図る実践科目として位置づけられている。2011（平成23）年度においては、9月6日から8日に2泊3日をかけて、君津亀山少年自然の家を拠点とし、2日目のフィールドワークを中心に活動を行った。フィールドワーク先としては、農業、林業、漁業、畜産業、地域活動、公園管理、観光などであった。

2011（平成23）年度からの新たな取り組みとしては、正課外教育プログラムの試行にあ

る。正課外教育プログラムは、正課科目やサービ斯拉ーニング活動との相乗効果を図りながら、学生の主体性や問題意識を高めるとともに、社会人として求められる基礎力や活動するために必要な実践的なスキルを身に付けることを目的としている。学生の主体性を高めるために、学生が個々に目標を設定するサポートを行うとともに、その上でキャリア教育の取り組みを進めている。

具体的には、新入生オリエンテーションにおけるガイダンス、本学部教員や学外の講師を招いた講演会の開催を行うとともに、日商簿記3級をめざす簿記講座を開催した。その他には、初年次教育の展開とも連携し、国語力検定を春と秋に実施した。国語力検定を実施する意義は、学生の成長の可視化にある。すなわち、学生の学部教育の言語運用力がどのように変化しているのかを、年2回測定することで、学部教育における日本語教育の効果を測り、その結果に基づいた教育方法の改善につなげることにある。

さらに、データなどを用いた客観的・科学的な分析に基づいた学生個々の成長を促すための学修のPDCAサイクルの検討を続けている。

今次、大学における学生の主体的な学びの促進、「学士力」や「社会人基礎力」の養成が高等教育の議論においても、社会からも要請されている。このような要請に応じて、教員が「何を教えるか」ではなく、学生が「何ができるようになるか」を重視した視点に立った教育改革を進めることが必要である。本学部においても学部開設時より、教授会後の学部指導連絡会を開催し、このような問題意識や学生個々の状況を教員間で共有するための取り組みを続けている。2011（平成23）年度においても、これらの取り組みを継続するとともに、新たな教育システムの考え方や教育手法を取り入れながら、本学部の教育プログラムの継続的な改善を行った。

・卒業式表彰者

理事長賞

実践心理学科 A83148 酒井 沙織 (サカイ サオリ)

総代

社会福祉学科 A81203 市川 佳那 (イチカワ カナ)

実践心理学科 A83122 唐木 瞬也 (カラキ シュンヤ)

人間社会学科 A82125 豊島 佳枝 (トヨシマ ヨシエ)

編入生 A81803 土井 慶子 (ドイ ケイコ)

長谷川研究奨励賞

社会福祉学科 A81245 安本 晃祐 (ヤスモト アキヒロ)

実践心理学科 A83067 村上 徳代 (ムラカミ マサヨ)

人間社会学科 A82091 佐野 綾香 (サノ アヤカ)

浄土門主賞

社会福祉学科 A81163 定野 和沙 (サダノ カズサ)

実践心理学科 A83152 高橋 麻衣 (タカハシ マイ)

人間社会学科 A82131 簾 由佳 (ミス ユカ)

編入生 A81809 村松 真名 (ムラマツ マナ)

全国保育士養成協議会長賞

社会福祉学科 A81035 齋藤 万里子 (サイトウ マリコ)

日本社会福祉士養成校協会会長賞

社会福祉学科 A81059 三上 智代 (ミカミ トモヨ)

日本精神保健福祉士養成校協会会長賞

社会福祉学科 A81209 小木 絵里奈 (コギ エリナ)

特別賞

社会福祉学科 A81310 阿部 陸 (アベ リク)

実践心理学科 A83161 渡邊 睦美 (ワタナベ ムツミ)

・実習等実施状況

(人)

学 部	実習科目	実習先	人数	備 考
総合福祉学部	教育実習	中学校	57	
		高等学校	5	
		特別支援学校	1	根拠：教育職員免許法施行規則 第6条 備考7
	障害児教育実習	特別支援学校	52	
	幼稚園教育実習	幼稚園	17	
	社会福祉援助技術現場実習	告示により掲げられた実習施設	176	
	精神保健福祉援助実習	告示により掲げられた実習施設	15	
	保育実習	保育所	46	実習科目は告示による教科目
		保育所以外の児童福祉施設	43	実習科目は告示による教科目
	保育実習Ⅱ	保育所	28	実習科目は告示による教科目
保育実習Ⅲ	保育所以外の児童福祉施設	0	実習科目は告示による教科目	
計			440	

・資格取得等状況

1. 国家資格の取得状況

(人)

	21年度	22年度	23年度	備 考
1. 社会福祉士試験合格者	88	86	67	
2. 精神保健福祉士試験合格者	1	4	10	
3. 保育士資格取得者	44	44	28	23年度： うち1名は科目等履修生

2. 資格取得支援講座等実施状況

(人)

講座名	受講者	受験者	合格者	合格率%	備考
1. ホームヘルパー2級資格取得講座	192	192	192	100	夏・春実施
2. 秘書検定準1・2級受検講座	8	8	3	37.5	準1級
	15	15	15	100	2級
3. マイクロオフィススペシャリスト2007講座 (Excel・Word)	70	70	57	81.4	【Excel】夏・春実施
	39	39	32	82.1	【Word】夏・春実施
4. FP3級資格試験対策講座	24	20	9	45.0	
5. 医療事務講座	41	41	25	61.0	
6. 社会福祉士試験対策講座	179	※172	※67	※38.9	※講座未受講者含む
7. 精神保健福祉士試験対策講座	20	※15	※10	※66.7	※講座未受講者含む

・卒業生等の進路状況

1. 総合福祉学部

平成23年度における卒業生数585名、このうち就職希望者数は496名、就職内定者数は403名であり就職率は81.3%となった。一方、就職内定者以外では大学院進学11名、その他の進学14名、卒業後も就職活動継続が93名、次年度公務員・大学院など再受験のための浪人は27名、就職意思無し・進路不明が37名であった。

総合福祉（社会）学部卒業生の進路状況 平成24年3月卒業

(人)

項目 / 学科	社会福祉学科		実践心理学科		人間社会学科		学部計		
		増減		増減		増減		増減	
①卒業生	312	48	164	△16	109	△11	585	21	
②就職希望者	280	36	125	△15	91	△13	496	8	
就職希望比率 ②/①%	89.7	△1.9	76.2	△1.9	83.5	△3.9	84.8	△1.8	
内 訳	③就職内定者	247	△14	89	△20	67	△17	403	△51
	(③/①)%	79.2	△14.5	54.3	△7.7	61.5	△10.5	68.9	△10.9
	(③/②)%	88.2	△14.5	71.2	△8.5	73.6	△9.5	81.3	△11.3
	④就職活動継続者	33	50	36	5	24	4	93	59
⑤就職を希望しない	12	0	13	7	8	△3	33	4	
内 訳	大学院進学	0	0	10	0	1	△1	11	3
	その他の進学	4	1	9	△2	1	4	14	3
	進学再受験	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥就職の意思無し	16	13	6	7	5	7	27	27	
⑦不明	0	0	1	4	3	0	4	7	

2. 総合福祉研究科

平成 23 年度修了（含、単位取得満期退学）の大学院生は 28 名、うち就職決定者（正職）は 8 名（内訳：福祉医療関連 7 名・教員 1 名）、一時的な仕事に就いた者は 6 名、進学は 2 名、その他 12 名であった。

3. 教員・公務員試験合格者数 総合福祉学部 (人)

	21 年度	22 年度	23 年度	備 考
1. 教員採用試験	26 (34)	26 (39)	36 (13)	臨時採用含む・()既卒
2. 公務員試験	19	19	16	

4. 卒業生の就職先

公務員・教員(講師・寄宿舎指導員・助手・支援員・介助員 含む)

警視庁、千葉県警察、千葉市行政職、千葉市福祉職、相模原市福祉職、白井市保育職、茨城県立大子養護学校、東京都立久我山青光学園、栃木県立益子特別支援学校、市川市立須和田の丘支援学校、千葉県立つくし特別支援学校、千葉県立安房特別支援学校、千葉県立夷隅特別支援学校、千葉県立印旛特別支援学校、千葉県立君津特別支援学校、千葉県立桜が丘特別支援学校、千葉県立四街道特別支援学校、千葉県立市原特別支援学校、千葉県立市川特別支援学校、千葉県立松戸特別支援学校、千葉県立千葉特別支援学校、千葉県立千葉豊学校、千葉県立船橋特別支援学校、千葉県立袖ヶ浦特別支援学校、千葉県立八日市場特別支援学校、千葉県立富里特別支援学校、千葉県立槇の実特別支援学校、千葉市立第二養護学校、千葉市立養護学校、船橋市立船橋特別支援学校、(学)アゼリー学園、(学)ポーロニア学園 みずき野幼稚園、(学)めばえ学園 めばえ幼稚園、(学)下志津学園 認定こども園、(学)市川学園 西の原幼稚園、(学)渋谷教育学園 浦安幼稚園、(学)清麗学園 坪井幼稚園、(学)川見学園 吹上幼稚園、(学)大室学園 さかわ幼稚園、(学)東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園、(学)平田学園 府中白糸台幼稚園、(学)黎明学園 鹿島台幼稚園

社会福祉分野

■福祉・医療関係企業・団体

(株)キンダーナーサリー、グローバルキッズ(株)、(株)アガペ、アースサポート(株)、アビリティーズ・ケアネット(株)、オリックス・リビング(株)、セントケア・ホールディング(株)、ワタミの介護(株)、(株)JP ホールディングス、(株)オールライフメイト、(株)オリックス・リビング、(株)グローバルキッズ、(株)ケアサービス、(株)スマイルハート、(株)タカサ、(株)ティーシーエス、(株)トーリツ、(株)ニチイ学館、(株)ヒューマンライフケア、(株)ベストライフ、(株)メッセージ、(株)ヤックスケアサービス、(株)ユニマットそよ風、(株)リエイ、(株)川島コーポレーション、(株)日本デイケアセンター、(株)日本保育サービス、(株)木下の介護、東急ウェルネス(株)

■福祉系施設

(福)あしたば、(福)カメラア会、(福)こうほうえん、(福)さざんか会、(福)さつき会、(福)つくし会、(福)パーソナル・アシスタンスとも、(福)バオバブ保育の会、(福)ひまわり会、(福)ふたば会、(福)マハヤナ学園、(福)ミッドナイトミッションのぞみ会、(福)ロザリオ聖母会、(福)ワーナーホーム、(福)わかみや福祉会、(福)愛光、(福)旭福祉会、(福)旭悠会、(福)一粒会、(福)救世軍社会事業団、(福)共生会、(福)九十九会、(福)九十九里ホー

ム、(福)九曜会、(福)恵福祉会、(福)慶桜会、(福)慶美会、(福)健仁会、(福)健誠会、(福)光正会、(福)江寿会、(福)江東楓の会、(福)佐倉市社会福祉協議会、(福)三篠会、(福)賛育会、(福)市原福祉会、(福)至誠学舎立川、(福)児童愛護会、(福)取手市社会福祉協議会、(福)愛の園福祉会、(福)大成会、(福)寿好会、(福)寿康会、(福)淑徳福祉会、(福)心聖会、(福)神栖啓愛園、(福)親愛会、(福)翠昂会、(福)杉の木会、(福)成田山福祉財団、(福)星光会、(福)晴山会、(福)正吉福祉会、(福)清流会、(福)清和園、(福)清和会、(福)生活クラブ風の村、(福)聖隷福祉事業団、(福)西口の杜、(福)誠友会、(福)斉信会、(福)千手会、(福)千葉県社会福祉事業団、(福)千葉県身体障害者福祉事業団、(福)千葉県福祉援護会、(福)千葉市手をつなぐ育成会、(福)双樹会、(福)大久保学園、(福)大阪福祉事業財団、(福)大田幸陽会、(福)滝郷学園、(福)長寿の里、(福)長須賀保育園、(福)東京児童協会、(福)東京都社会福祉事業団、(福)東京都知的障害者育成会、(福)南生会、(福)馬橋福祉会、(福)八千代美香会、(福)悲田院、(福)芙蓉会、(福)武蔵野会、(福)福祉楽団、(福)覆育会、(福)宝樹、(福)房総双葉学園、(福)墨田区社会福祉事業団、(福)佑啓会、(福)友和会、(福)龍心会、(福)六親会、(福)煌徳会、NPO 法人東京ソテリア、NPO 法人ひびき会、NPO 法人みらい工房、合同会社 八千代教育福祉事業団

■医療関係法人

千葉県精神科医療センター、戸田中央医科グループ、総合病院 国保旭中央病院、東邦大学医療センター 佐倉病院、日本赤十字社 成田赤十字病院、(医)沖縄徳洲会、(医)光風会、(医)光洋会、(医)清和会、(医)聖母会、(医)社団 志誠会、(医)社団 心癒会、(医)社団 透光会、(医)社団 愛友会、(医)社団 湖聖会、(医)社団 総和会、(医)社団 研精会、(医)社団 湖聖会

企業分野

■製造業

(株)エキップ、村岡ゴム工業(株)、太陽日酸(株)、(株)フジキン、(株)佐々木ダイガスト工業、(株)杉田製線

■建設業

(株)アーネストワン、(株)夢真ホールディングス

■金融・保険・不動産・物品賃貸業

富国生命保険相互会社、センチュリー21 ベルエステート(株)、(株)サジェスト、積水ハウス(株)、(株)トヨタレンタリース新千葉

■ライフライン

かもめガス(株)、(株)ガスパル、京葉工管(株)、東京ガスライフバル E-Do (株)

■情報通信業

(株)MCT、(株)日テレアクセスオン、ITC ネットワーク(株)、トランスコスモス(株)、(株)I2C、(株)NTT ソルコ、(株)アイルネット、(株)デジタルスフィア、(株)ランドスケイプ

■流通業

ヤマト運輸(株)、バイクックコーポレーション(株)、(株)サンエーインターナショナル、アトム(株)、チバビジネス(株)、(株)宇佐美鉱油、(株)三菱電機ライフネットワーク、(株)富士薬品、君塚商会(株)、福西電気(株)、トヨタカローラ千葉(株)、(株)URBAN RESEARCH、(株)三貴、マザウエイズ(株)、(株)いまでや、(株)エフ・ディ・シェ・フレンズ、(株)カスミ、(株)ケーユーホールディングス、(株)コモディイイダ、(株)サンドラッグ、(株)ときわスポーツ、(株)ナリタヤ、(株)ビッグワン、

(株)マルヤ、(株)みかわや、(株)ユナイテッドアローズ、(株)リファクトリィ、(株)レッドバロン、(株)一本堂、(株)銀座マギー、(株)銀座ヨシノヤ、(株)三和、青山商事(株)、千葉日産自動車(株)、栃木トヨタ自動車(株)

■サービス業

(財)千葉県学校給食会、(株)エムケイワン、(株)クリエイト、(株)セブンアークス、ホソイフードサービス(株)、ホテルマネジメントインターナショナル(株)、ワタミフードサービス(株)、(株)キンレイ、(株)ダイヤモンドダイニング、(株)プロジェクトM、(株)モンテローザ、(株)レストラン・エクスプレス、(株)ロッセリアフードサービス、(株)大庄、東和フードサービス(株)、KCJ GROUP(株)、(株)ナムコ、(株)ボディワークホールディングス、コープネット事業連合、アシストインターナショナル(株)、リゾートトラスト(株)、(株)アムズプロジェクト、(株)イービーエム、(株)ゲンキの平和堂、(株)ベアバグ、(株)ベストバイ良品買館、(株)ライフランド、(株)日本サービスセンター、(株)セブンプランニング、(株)ナック、(株)ファクト、(株)柴橋商会、千葉みらい農業協同組合、木更津市農業協同組合、コーエイ(株)、(株)アーバンセキュリティ、(株)弘報社印刷、常陸警備保障(株)

3 研究活動

・総合福祉学部で開催された学会等

日本社会福祉学会第59回秋季大会 平成23年10月8・9日

淑徳大学社会福祉学会第21回大会 平成23年11月19日

・コミュニティ政策学部で開催された学会等

・科学研究費助成事業等の受給状況

平成23年度科学研究費助成事業

(1) 総合福祉学部

(単位千円)

研究種目	研究者	区分 継続	課題内容	平成23年 直接経費/ 間接経費	申請機関
1. 若手研究B	黒岩 亮子	継続	地域社会におけるセーフティネットの構築と地域福祉推進政策に関する社会福祉学的研究	500 /150	文部科学省
2. 基盤研究C	白井伊津子	継続	修辞表現に関する和漢比較研究	500 /150	独立行政法人 日本学術振興会
3. 基盤研究C	黒田 美保	継続	自閉症スペクトラムを対象とした感情コントロール促進プログラムの開発	1,100 /330	独立行政法人 日本学術振興会

(単位千円)

研究種目	研究者	区分 継続	課題内容	平成 23 年 直接経費/ 間接経費	申請機関
4. 基盤研究C	村上 信	新規	大学の学部教育における終末期ケアに関する社会福祉教育の実証的研究	1,800 /540	独立行政法人 日本学術振興会
5. 基盤研究C	桜井 美加	新規	中学生の暴力予防のための心理社会的ウェルビーイングに関する研究	1,700 /510	独立行政法人 日本学術振興会
6. 挑戦的萌芽研究	大橋 靖史	新規	社会的相互作用の中に立ち現れる心理的な過去と未来	1,300 /310	独立行政法人 日本学術振興会

(2) コミュニティ政策学部

(単位千円)

研究種目	研究者	区分 継続	課題内容	平成 23 年 直接経費/ 間接経費	申請機関
1. 基盤研究C	榊瀧 俊子	継続	ローカル・フードシステムの社会的意義の実証研究 ―社会関係と社会的公正をめぐって―	800 /240	独立行政法人 日本学術振興会

・学位の取得状況（平成 19～23 年度）

2007(平成 19)年度

該当者なし

2008(平成 20)年度

該当者なし

2009(平成 21)年度

該当者なし

2010(平成 22)年度

該当者なし

2011(平成 23)年度

該当者なし

・その他の表彰

2007(平成 19)年度

該当者なし

2008(平成 20)年度

丸山 晋教授 第 26 回森田療法学会において「森田正馬賞」受賞

2009(平成 21)年度

該当者なし

2010(平成 22)年度

該当者なし

2011(平成 23)年度

該当者なし

4 社会的貢献活動等

1. 公開講座

(広報・地域支援室)

本学の公開講座は、本学部における研究・教育活動の成果を社会および地域に還元するという意味もあり、講師は基本的に本学教員を中心に協力を仰いで実施しているが、講座の充実を図るため外部講師も招聘する場合もある。

平成 23 年度の公開講座は、「子どもキャンプ教室 2011」を開催した。講座のテーマは、「良い思い出が人を育てる 小さな子どもの大冒険 in 蔵王」とし、このテーマのもとに、千葉市内の小学校 3・4 年生を対象とした自然体験活動キャンプ教室を実施した。キャンプでの共同活動を通して、自然への理解を深め、感性を養い、仲間とともに力を合わせることやがんばることの大切さの「生きる力」を育むことをねらいとした。指導者は、専任教員があたり、学生 40 名が班分けされた受講者に付添いながら、さまざまな活動から生活面まで、個々の力を引き出せるよう支援した。はじめて出会った仲間との共同生活や、蔵王への登山などの活動を通して、児童も学生も成長する機会となった。

平成 23 年度淑徳大学公開講座 子どもキャンプ教室 2011

○テーマ「良い思い出が人を育てる 小さな子どもの大冒険 in 蔵王」

○実施時期：平成 23 年 8 月 8 日（月）～12 日（金）

○実施会場：国立南蔵王野営場

○指導者：土井浩信（総合福祉学部教授）

瀧 直也（コミュニティ政策学部講師）

淑徳大学野外教育ゼミ学生 40 名

○主な内容：8 月 8 日（月） 仲間作りゲーム、周辺散策

8 月 9 日（火） 課題解決ハイキング

8 月 10 日（水） 蔵王山登山

8 月 11 日（木） クラフト、キャンプファイヤー

8 月 12 日（金） ふりかえり

○参加者：千葉市内の小学校 3・4 年生 56 名

2. 社会貢献事業

(広報・地域支援室)

- ① 全国障害者スポーツ大会の予選である「千葉市ゆうあいピック」が 5 月 18 日に開催されたが、参加選手の補助ボランティアに 56 名の学生が参加した。
- ② 千葉市中央区のフクダ電子スクエアで、スポーツを通じて日本とブラジルの交流を図

るサッカー教室を、5月22日に千葉西ロータリークラブとの共催で開催した。ジェフユナイテッド千葉の元ジュニア育成コーチのもとに指導が行われた。参加したブラジル人および日本人の親子は600名を超えた。

- ③ 地元白旗商店会との共催事業、「商学連携白旗七夕祭り」を7月1日から7月7日まで開催した。笹飾り作り、射的、水ふうせんなどの出店を学生ボランティアが担当し、ダンスやジャグリングのパフォーマンスも催した。
- ④ 小学生100人以上が8月6日から10日までの5日間をかけて100キロを踏破するイベントである市原青年会議所の事業、「いちほら100キロ徒歩の旅」に、12名の学生ボランティアを派遣した。
- ⑤ 千葉県動物公園との共催で、障がいのある子どもに動物とのふれあいを楽しんでもらう「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」を8月22日に開催した。52組161名の親子が来園し、本学から特別支援教育を学ぶ学生たち53名が参加して、飼育係の職員と共に動物と来園者とのふれあい体験サポーターをつとめた。
- ⑥ 千葉県庁知事室において、長谷川匡俊学長が森田健作千葉県知事と11月29日に対談した。前年度(2010年)千葉県で行われた全国障害者スポーツ大会に541名の学生ボランティアを出していたこともあり、福祉について意見が交換された。
- ⑦ 淑徳大学学生消防隊員が、全国初の大学構内に活動拠点(詰所)を置く千葉市消防団第3分団5部として、日々の訓練や、近隣の地域防災のため春・秋・歳末の特別警戒パトロール実施や隣接する生実町の花火大会において防火担当として出動した。また1月6日に中央区鶴の森町で発生した家屋火災に対し、学生消防団員ら9名は授業中ではあったが構内非常放送により招集後、ただちに消防車両(可搬ポンプ積載車)による緊急出動を行い、千葉市消防局消防隊員と共に消防活動を実施した。
- ⑧ 大学周辺の地域の方々と交流を深め、犯罪を減らし、安全・安心で暮らしやすい街づくりを目的として設立された「防犯ボランティアサークル Shukutoku Eagle Eyes」が結成2年目を迎え、周辺の防犯パトロール、近隣の花火大会などイベントでの警備をした。
- ⑨ 千葉中央警察署と協力し、地域市民が安全で安心して暮らせる街づくりを目的とした「地域安全に関する覚書」を締結した。(平成23年9月30日 於学長室)
- ⑩ 第1回長谷川良信杯記念車椅子バスケットボール全国選抜大会が東日本大震災の影響で延期されていたが、3月3、4日に開催され、総当たり戦がくりひろげられた。(出場チーム:宮城MAX、千葉ホークス、ワールドBBC、NO EXCUSE)
- ⑪ 日本赤十字青年奉仕団(淑徳分団)として献血活動支援や、街頭募金活動を行なった。370名(延べ数)の学生ボランティアが参加した。

(社会福祉研究所)

・社会福祉研究所：発達臨床研究センター

1. 障害児に対する地域支援活動

昭和40年の淑徳大学開学以来、地域支援として発達障害を持つ就学前の子ども達を対象に療育活動を展開してきた。感覚と運動の高次化アプローチによって、最重度の障害を持つ子ども達からアスペルガー症候群、学習障害や注意欠陥多動障害といった知的障害を伴わない高機能の子どもまで、障害の種別を問わずに発達支援を実践してきた。これまで受け入れてきた子どもの数は700名を越え、臨床心理士と臨床発達心理士を中心に大学院生

および学部学生の研究、教育の場としても機能している。

療育方針は緻密な発達評価に基づいて、一人ひとりの子どもに適切な支援プログラムを開発することに重点を置いている。これまでに2000点を超す独自の認知・言語教材を開発し、個別指導に加え音楽・運動・コミュニケーションにねらいを置いた集団療法を実践してきた。平成23年度は千葉市内を中心に31名の発達に障害を持つ子ども達を受け入れ、個別及び集団の療育を実践した。

2. 学部生および大学院の臨床実習生の受け入れ

総合福祉学部社会福祉学科と実践心理学科の3年・4年次学生38名を対象に、障害児初級・上級臨床実習を行った。また、大学院総合福祉研究科臨床心理配属実習生3名、臨床発達心理実習生5名の大学院生8名を対象に、発達臨床心理実習を行った。いずれの実習も、学生は毎週特定の子どもの担当し、直接発達支援にかかわり、平行してケースカンファレンスやスーパービジョンを受けながら、発達アセスメントや支援仮説の検証を行った。

3. 長期研修生の受け入れ

千葉県特別支援教育長期研究委託生1名を受け入れた。

4. 発達臨床研修セミナーの開催

8月6日と7日に2日間、第36回発達臨床研修セミナーを「障害児の発達支援を考える」というテーマのもと、大学の5号館・7号館の教室にて開催した。全国から241名の参加者があった。

5. 淑徳大学発達臨床研究センターの理論と実践セミナーの開催

本年度は諸般の事情により中止となった。

6. 研究紀要の発刊

発達臨床研究29刊を発行し、論文6編、その他3編が掲載された。

・社会福祉研究所

1. 社会福祉研究所セミナー

第15回社会福祉研究所企画のセミナーを、7月3日（日）に千葉市文化センター・アートホールで開催した。講師は金子保氏で「善財童子の如くありたいものである」というテーマでご講演いただいた。118名の参加者があった。

2. 研究紀要の発刊

総合福祉研究第16号を発刊した。第15回社会福祉研究所企画のセミナーの講演録と論文7編が掲載された。

3. 共同研究プロジェクト3カ年計画

アンケート調査を実施した。

(心理臨床センター)

・総合福祉研究科 附属心理臨床センター

事業内容

1. 心理相談活動

平成 23 年度の心理相談活動の実績は、個別相談が延べ 401 件、家族相談が延べ 231 件、心理査定が延べ 88 件、相談コンサルテーションが延べ 70 件で、合計延べ 790 件であり、前年度比 1.18 倍と漸増傾向が続いている。開館時間数と相談指導員の指導可能件数という制約から一旦上限に達すると予測していたが、従来予約の少なかった時間帯を使用できる義務教育以後のケースが複数来所したためと見られる。相談内容では、発達上の問題、特に発達障がいと関係する問題の増加が顕著であり、親が子どもの問題を認識していると「社会的関係に関する問題」としての依頼となり、本人に自覚があると「対人関係に関する相談」「自己理解」の相談となっている。他には、子育ての悩み、学校関係の問題、精神的健康の問題、パーソナリティや家族関係の問題等が主な相談内容であり、地域の医療機関のみならず、公的相談機関や学校などからの紹介も続いており、信頼できる地域の相談機関としての信頼および評価も定着してきているといえよう。

2. 地域貢献事業

(1) 地域支援事業

6 月 11 日に、地域の町内会の役員、千葉市内および千葉県内の教育関係者をはじめとする総計 112 名の方を対象として、講演会、座談会を行った。本学教授小川恵氏「私たちにとっての被災体験」と題する東日本大震災に関する講演の後、地域の皆さん、教育関係者、子育て関係者といったグループごとに座談会を行って、今回の大震災をどのように受けとめ、対処していくのかを語り合う場とした。震災後 3 ヶ月で、千葉においてこの災害をどのように受けとめていくのかを理論的に整理し、今後の見通しをもつことのできた会であったと自負している。なお、例年開催していた教育支援事業は、合併して開催され、千葉市教育委員会の後援も受けて実施された。

(2) 子育て相談会

子育て相談会は、共催の慈光保育園「このはなクラブ（大巖寺文化苑子育て支援サークル）」に相談指導員と実習生を派遣する形で、10 月と 2 月に 2 回開催し、初回は 26 名、2 回目は 22 名の親子が参加して行った。

3. 専門家のための心理臨床研修

(1) 高齢者支援研修

高齢者支援に携わる臨床心理士・社会福祉士・保育士など 109 名を対象とした公開講座を、東洋大学教授 野村豊子氏を招いて池袋キャンパスで開催した。今年度は「地域における回想法の展開」と題して、回想法全般の講義に続けて、地域を巻き込んだ回想法の実施例を VTR を見ながら具体的に学ぶ機会となった。引き続きワークショップも行い、35 名が参加した。

(2) 子育て支援講座

子育て支援に携わる臨床心理士・保育士等 72 名を対象として、池袋キャンパスにて慶應義塾大学専任講師 渡辺久子氏が講演を行った。テーマは「子どものトラウマとその治療的関わり」であり、被災地にいち早く入って活動され、日本政府への提言や支援者のため

のシンポジウム開催などをされてきた経験をふまえて、子どもにかかわる専門職に必要とされるトラウマに関する理解と関わりについての講演であり、大きな好評を博した。

4. 臨床心理士養成のための事業

心理臨床センターでは、臨床心理士養成機関として、「臨床心理士受験対策講座」「回想法ワークショップ」「電話相談に関する特別講座」「ロールシャッハ講座」などを実施した。

「臨床心理士受験対策講座」は千葉キャンパスにおける「修了生講話」と、池袋キャンパスにおける5月から9月の計5日間の有料講座とを実施した。前者には4人の修了生を招き、在学生34名が参加した。後者は、『基礎と過去問題解説』の1, 2, 3講への参加人数が計98名、アセスメント特講は40名、直前講座32名で、合計170名の参加があった。

「回想法講座」は、7月23日に新天本病院の管寛子氏を招いて相談指導員の大橋靖史氏とともに、30名の院生を対象に行った。

「電話相談に関する特別講座」は、9月5日に千葉いのちの電話の福田睦子氏を招いて行われ、心理学専攻の院生31名が参加した。

「ロールシャッハ講座」は臨床心理士養成と、修了生や現場の臨床心理士のスキルアップを目的に有料の講座として4コースを実施した。エクスナー法(計2回)の参加者は9名、片口法(計2回)は26名であり、地元の児童相談所の職員の参加など、地域における心理臨床研修の意味も併せて定着してきている。

5. 「淑徳心理臨床研究」第9巻の刊行

センター紀要である「淑徳心理臨床研究」第8巻は、3月31日に刊行された。この巻は、原著論文1点、研究ノートおよびその他5点、実習先紹介1件、職場紹介3件、事業報告・活動報告からなっていて、総ページ数120であった。この中には、修了生による研究ノートや東日本大震災での活動報告が含まれており、大学院の教育成果とセンターのこれまでの活動とがここにも結実してきている。

(サービスラーニングセンター)

事業報告

サービスラーニングセンターは、参加型の体験学習を企業や行政、NPOなどと連携し実施している。平成23年度の事業の中で、やはり中心となったのは東日本大震災で、コミュニティ政策学部の学生もボランティア活動に参加した。

サービスラーニングセンターは「地域とつながる。地域に学ぶ」を掲げ、地域の課題発見と解決策の研究を実践し続けていくとともに地域連携先を広げていく予定である。またさまざまな学生達に参加するだけでなく、学生主体のプロジェクトの展開を拡大していく。

【課外研修】

ジェフユナイテッド。千葉ロッテマリーンズ。外務省。ハリウッド化粧品。幕張メッセ。京成ホテルミラマーレ。千葉県警察本部。千葉市役所。千葉市消防局。千葉テレビ。千葉都市モノレール。そごう千葉店。ANAを訪問し研修。

【地域連携】

宮城県石巻市避難所支援ボランティア活動。白旗活性化事業。千葉市中央区ふるさと祭り。「震災とコミュニティを考えるフォーラム」開催。長谷川良信記念車椅子バスケットボール全国選抜大会開催(学生実行委員会)。千葉市中央区長と語る会。千葉都市モノレール・

ユニバーサルデザインフォーラム。

【外部講師特別講義】

千葉ロッテマリーンズ・瀬戸山社長。千葉都市モノレール・大澤社長。

5 学生の活動

・平成23年度「大乘淑徳学園スポーツ・文化研究奨励賞」受賞者

授与式：平成24年1月5日(木) 14:00～ 新春賀詞交歓会にて

【ボランティア・社会活動部門】

最優秀奨励賞

部門名	サークル名・ 個人名	学年	功 績
大学(千葉)	BBS		平成23年国際ソロプチミスト日本財団『社会ボランティア賞』受賞
大学(千葉・ 千葉第2・ 埼玉みずほ台)	東日本大震災 に係る被災地 支援ボランテ ィア参加学生		平成23年3月11日東日本大震災発生直後からの募金活動 千葉県旭市避難所での昼食支援・汚泥撤去活動 宮城県石巻市保育所・小中学校での教育支援、復興祈年祭 支援 ※今なお多くのボランティア学生によって復興支援が行 われている。

・平成23年度「大乘淑徳学園スポーツ・文化研究奨励賞」受賞者

授与式：平成24年1月19日(木) 12:20～ 学長室

【文化活動部門】

優秀奨励賞

部門名	サークル名・ 個人名	学年	功 績
大学(千葉)	吹奏楽部		第52回千葉県吹奏楽コンクールで「金賞」を受賞

【ボランティア・社会活動部門】

優秀奨励賞

部門名	サークル名・ 個人名	学年	功 績
大学(千葉)	学生消防隊 (千葉市消防 団第3分団 5部)		全国初の『大学キャンパス内に設置される学生消防団』 平成23年3月11日東日本大震災発生直後からの防災支援 活動

・平成 23 年度 淑徳大学スポーツ文化奨励賞 受賞者

授与式：平成 24 年 3 月 1 日(木) 12：20～ 15-802 会議室

団体

名 称	実 績	奨励金
認定団体 排球部（女子）	平成 23 年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦 11 部（8 校）ブロック 2 位 10 部昇格	10 万円
認定団体 硬式野球部	千葉県大学野球春季リーグ戦 3 部リーグ 8 勝 2 敗 優勝 2 部昇格	10 万円
認定団体 卓球部	関東学生卓球リーグ戦春季リーグ戦 5 部 B ブロック 5 戦 5 勝 4 部昇格	10 万円
認定団体 吹奏楽部	第 53 回千葉県吹奏楽コンクールで金賞・賛助会特別賞 を受賞 千葉県アンサンブルコンテスト金管八重奏で金賞を受 賞	10 万円
準認定団体 BBS	財団法人ソロプチミスト日本財団より社会ボランティ ア賞を受賞 千葉県より千葉県社会奉仕賞を受賞	10 万円

個人

名 称	実 績	奨励金
硬式野球部 B0C058 金城 健志	H23 年 3 部春季リーグ最多勝（4 勝）及び奪三振賞 （5 試合 49 個）を受賞 H23 年 3 部春季リーグ最優秀選手賞を受賞	5 万円
羽球部 A91142 杉野 明子	平成 23 年度パラバドミントン全日本強化選手 第 8 回グアテマラ パラバドミントン世界選手権 ミックスダブルス 金メダル（杉野・Lang Yean Loi） 女子シングルス（U4）ノンオフィシャルマッチ 1 位	5 万円
バスケットボール部 A91054 千田鳳美子	平成 23 年度千葉県女子バスケットボール大会春季リー グ戦 A リーグ得点王	5 万円

6 その他

・平成 23 年度の施設・設備の整備事業

- ①千葉キャンパス内防犯監視用カメラの導入。
- ②千葉キャンパス自習室のパソコン入替。
- ③2 号館（記念館）トイレ改修工事。
- ④7 号館屋上および外壁防水補修工事。
- ⑤7 号館空調設備改修工事。